

門真市ものづくり産業振興計画策定に向けた
産業支援機関アンケート調査
報告書

門真市 産業振興課

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング

2024 年 1 月 19 日

《 目 次 》

I. 調査の目的と概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
II. 調査結果	2
1. 機関の概要について	2
2. 利用者ニーズと支援メニューについて.....	4
3. 今後の重点事業について.....	5
4. 門真市の製造業事業者の特徴について.....	6
5. 自治体との連携について.....	8

I. 調査の目的と概要

1. 調査の目的

門真市の「基幹産業」である「ものづくり産業」の振興を通じた経済の活性化を図るとともに、製造事業者の課題及びニーズに的確に対応した施策を計画的かつ一貫して展開していくための基本方針である「門真市ものづくり産業振興計画」の策定に向け、産業支援機関から見た事業者が抱える課題や施策ニーズ、今後の方向性等を把握するため、アンケート調査を実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査方法

調査名称	門真市ものづくり産業振興計画策定に向けた産業支援機関アンケート調査
実施期間	令和5年12月11日（月）～令和5年12月29日（金）
調査方法	郵送による調査票の配布、郵送またはWEBによる回収
調査対象	大阪府内に所在する産業支援機関、門真市内もしくは門真市周辺に所在する金融機関46機関

(2) 回答状況

発送数	未達数	有効 発送数	有効回答数			回収率
			郵送による 回収	WEBに よる回収	合計	
46件	0件	46件	10件	1件	11件	23.9%

(3) 報告書の見方

- ・ 回答結果の比率はパーセントで表している。四捨五入の関係で、見た目上の比率を足し算しても、合計が100%にならないこともある。
- ・ 複数回答が可能な設問では、回答結果の比率を合計しても100%にはならない。
- ・ 報告書に掲載しているグラフにおいて、値の小さい項目は表記を省略している場合がある。

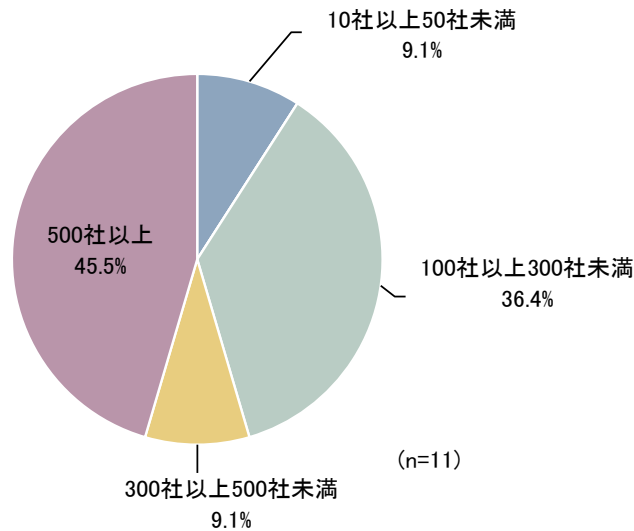
II. 調査結果

1. 機関の概要について

(1) 支援先である事業者数(直近1年間)

「500社以上」(45.5%)の割合が最も高く、次いで「100社以上300社未満」(36.4%)、「10社以上50社未満」(9.1%)、「300社以上500社未満」(9.1%)となっている。

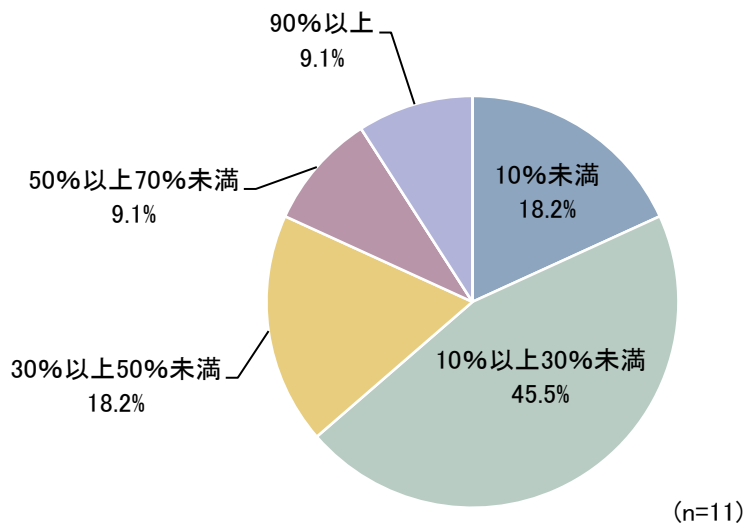
図表 II-1 支援先である事業者数



(2) 支援先に占める製造業事業者の割合(直近1年間)

「10%以上30%未満」(45.5%)の割合が最も高く、次いで「10%未満」(18.2%)、「30%以上50%未満」(18.2%)となっている。

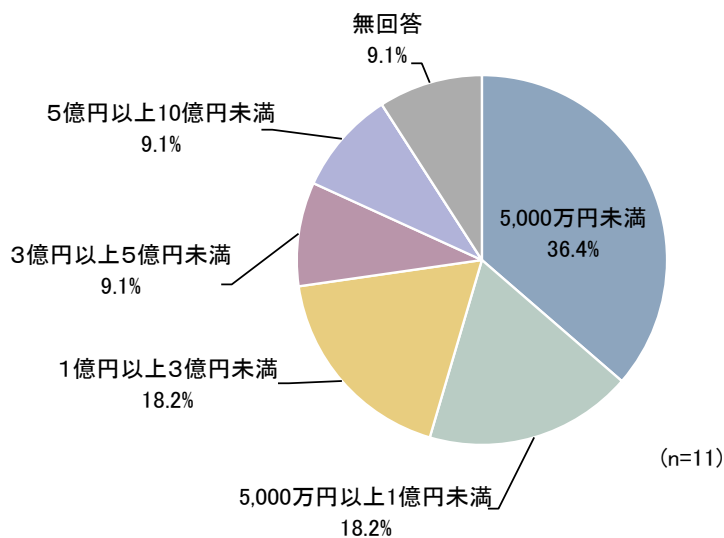
図表 II-2 支援先に占める製造業事業者の割合



(3) 利用が多い製造業事業者の売上規模

「5000万円未満」(36.4%)の割合が最も高く、次いで「5000万円以上1億円未満」(18.2%)、「1億円以上3億円未満」(18.2%)となっている。

図表 II-3 理容が多い製造業事業者の売上規模

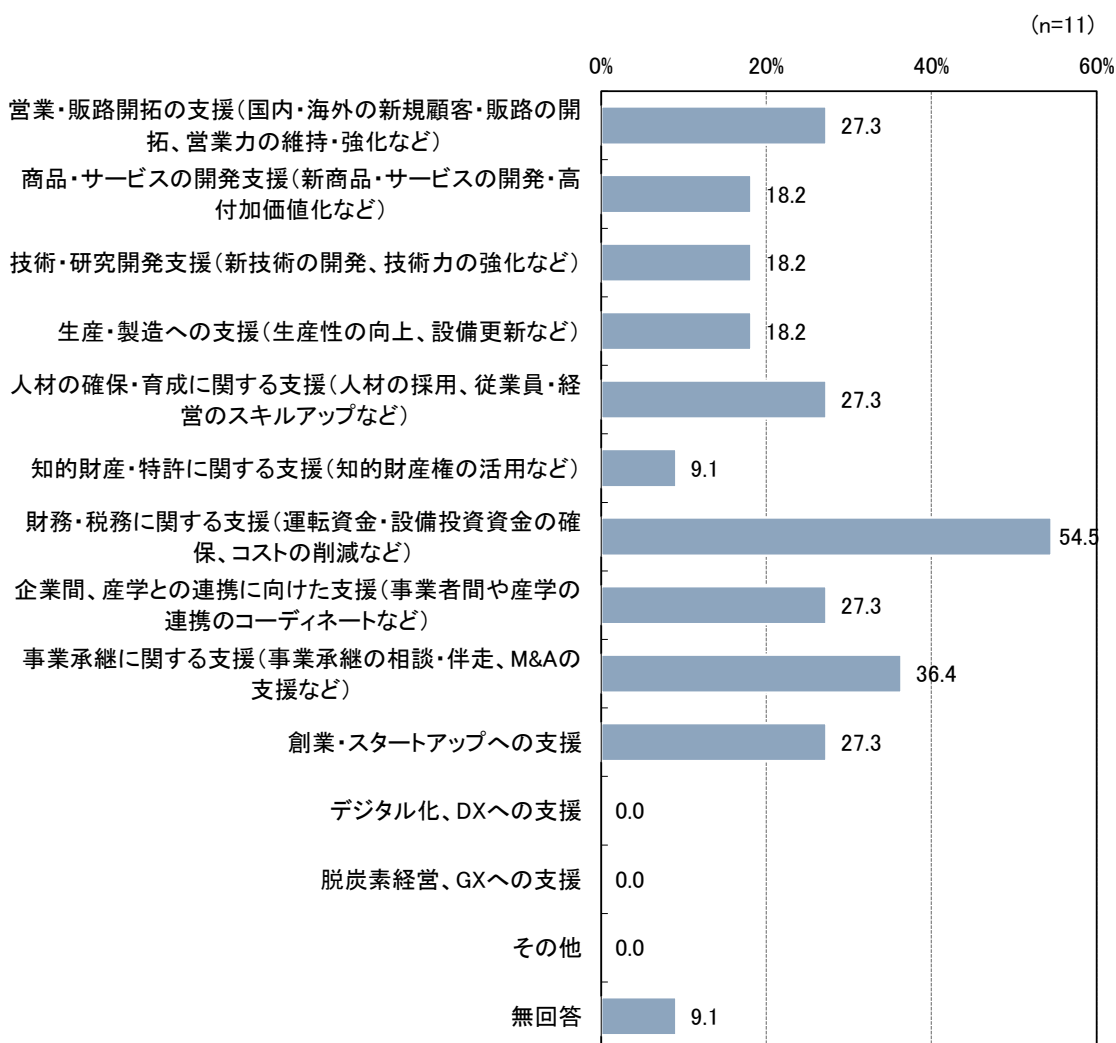


2. 利用者ニーズと支援メニューについて

(1) 製造業の事業者に対して力を入れている支援分野

製造業の事業者に対して力を入れている支援分野としては、「財務・税務に関する支援（運転資金・設備投資資金の確保、コストの削減など）」（54.5%）の割合が最も高く、次いで「事業承継に関する支援（事業承継の相談・伴走、M&Aの支援など）」（36.4%）となっている。

図表 II-4 製造業の事業者に対して力を入れている支援分野



(2) 製造業の利用者のニーズや相談数の変化(自由記述)

製造業の利用者のニーズや相談数の変化に関しては、以下のような回答があった。

図表 II-5 製造業の利用者のニーズや相談数の変化

No.	内容
1	SDGs 関連の相談。人材確保の相談。
2	外注先紹介(既存ルートの倒産・廃業のため)
3	廃業、事業承継、M&A のキーワードの相談が増加している。高齢化が進み、将来の見通しに不安を感じている企業がある。一方で、M&A により買収を前向きに検討する企業も増えている。
4	代表者の高齢化が進んでいる。事業承継のニーズがある。
5	仕入部材、人件費の高騰による利益率の悪化。適正価格への価格転嫁。コロナにより人を減らしたものの、今 V 字回復する中で人手不足。
6	インボイス関連の相談が増加している。(人材・マッチング等は 5 年前と同様に高いニーズがある)

3. 今後の重点事業について

(1) 重点的に取り組みたい、または充実させたいと考えている支援の在り方や方向性(自由記述)

重点的に取り組みたい、または充実させたいと考えている支援の在り方や方向性に関しては、以下のような回答があった。

図表 II-6 重点的に取り組みたい、または充実させたいと考えている支援の在り方や方向性

No.	内容
1	各種コンサルティング業務(SDGs、DX、人材、事業承継等)
2	デジタル化、自動化、業種特化型支援
3	ビジネスマッチング
4	事業承継、M&A を重点的に取り組みたい。
5	M&A、事業者支援(融資強化)
6	人材の提供、補助金の提案
7	次世代の経営者(候補者)への支援

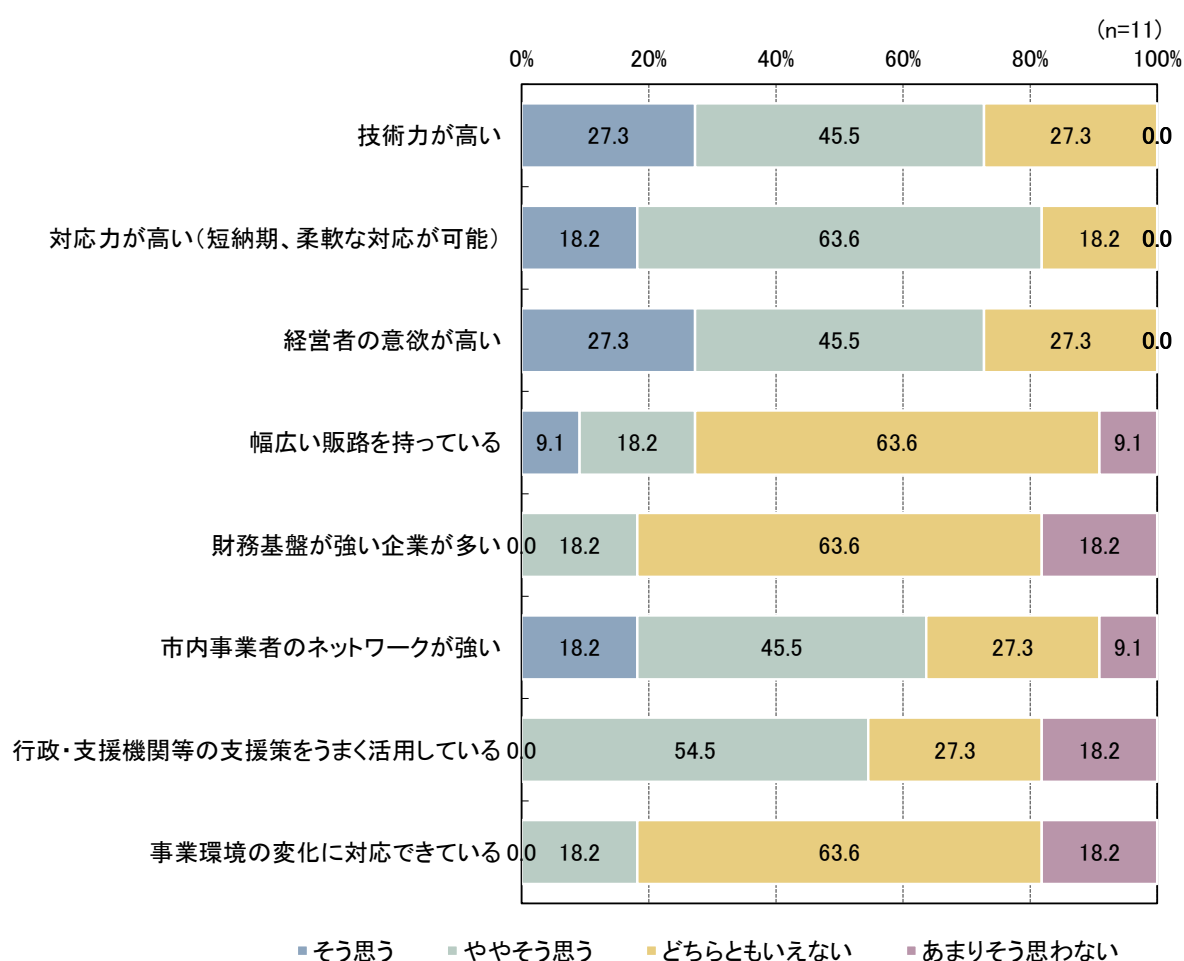
4. 門真市の製造業事業者の特徴について

(1) 門真市の製造業事業者の特徴

門真市の製造業事業者の特徴について、「そう思う」（「そう思う」＋「ややそう思う」）と回答しているものをみると、「対応力が高い（短納期、柔軟な対応が可能）」（81.8%）の割合がもっとも高く、次いで「技術力が高い」（72.8%）、「経営者の意欲が高い」（72.8%）となっている。

一方で、「あまりそう思わない」と回答しているものをみると、「財務基盤が強い企業が多い」（18.2%）、「行政・支援機関等の支援策をうまく活用している」（18.2%）、「事業環境の変化に対応できている」（18.2%）などとなっている。

図表 II-7 門真市の製造業事業者の特徴



(2) 前問に関連して、もしくは前問の項目以外も含めた、門真市の製造業事業者の特徴（自由記述）

前問に関連して、もしくは前問の項目以外も含めた、門真市の製造業事業者の特徴に関しては、以下のような回答があった。

図表 II-8 門真市内の製造業事業者で独自の取組やサービスを展開している、もしくは興味深い取組を行なっている事業者

No.	内容
1	技術に誇りを持っている企業がある一方、技術に受注と比例していない場合がある。受注先が分散されていない企業は先行きに不安を感じているが、なかなか分散されないのが現状。
2	パナソニックの城下町という歴史もありQCDの意識が高い。

(3) 門真市内の製造業事業者で独自の取組やサービスを展開している、もしくは興味深い取組を行なっている事業者（自由記述）

門真市内の製造業事業者で独自の取組やサービスを展開している、もしくは興味深い取組を行なっている事業者に関しては、以下のような回答があった。

図表 II-9 門真市内の製造業事業者で独自の取組やサービスを展開している、もしくは興味深い取組を行なっている事業者

No.	内容
1	一瀬製作所様、北次様 オープンファクトリー（ファクトリズム）への参加
2	大手メーカーの下請けの組立加工から、人材派遣、外国人技能実習まで行っている。最近では、少年野球チーム、こども食堂など積極的に地域と関わっている。

(4) 門真市以外の製造業事業者で独自の取組やサービスを展開している、もしくは興味深い取組を行なっている事業者（自由記述）

門真市以外の製造業事業者で独自の取組やサービスを展開している、もしくは興味深い取組を行なっている事業者に関しては、以下のような回答があった

図表 II-10 門真市以外の製造業事業者で独自の取組やサービスを展開している、もしくは興味深い取組を行なっている事業者

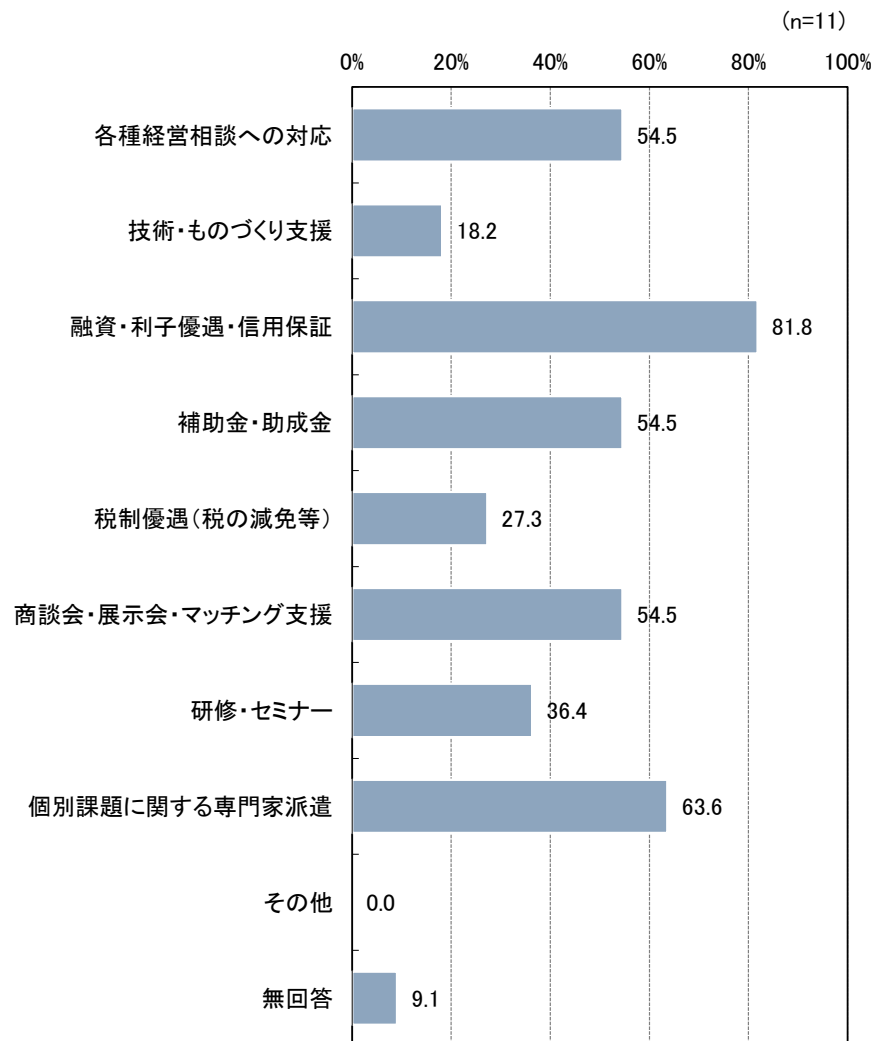
No.	内容
1	大手流通小売と取引がある段ボールメーカーで、安定した受注を確保しているが、小ロット、独自の技術で対応している。マッチングの引き合いも多い。

5. 自治体との連携について

(1) 公的な中小企業支援メニューの提案実績

公的な中小企業支援メニューの提案実績としては、「融資・利子優遇・信用保証」(81.8%)の割合が最も高く、次いで「個別課題に関する専門家派遣」(63.6%)となっている。

図表 II-11 公的な中小企業支援メニューの提案実績



(2) 門真市以外の基礎自治体(市町村)の産業振興部局と連携している内容(自由記述)

門真市以外の基礎自治体(市町村)の産業振興部局と連携している内容に関しては、以下のような回答があった

図表 II-12 門真市以外の基礎自治体(市町村)の産業振興部局と連携している内容

No.	内容
1	・兵庫県三木市:地方創生にかかる連携協定を締結し、連携した取組を実施。 ・地域ブランドの高付加価値化と「地域ブランドエコシステム」構築に向けた支援を、関西の12の地域に実施。 鯖江市(鯖江のめがね)、甲賀市(信楽焼)、京丹後市(丹後織物)、和東町(和東茶)、泉佐野市(泉州タオル)、丹波篠山市(丹波篠山の黒大豆等)、西脇市他(播州織)、三木市(三木の酒米等)、淡路島(淡路島の食と香り)、奈良県内(奈良酒)、広陵町(広陵くつした)、和歌山市他(和歌山ニット)
2	定期的に勉強会、意見交換会の実施
3	東大阪市、八尾市、大東市、堺市、大阪市と連携
4	大東市・大東商工会議所とオープンファクトリー、ものづくりコネクトに関して連携
5	四条畷市(なわて事業者チャレンジ支援制度を利用)
6	守口市と連携し、人材・販路・ブランド化等の支援を行っている。

(3) 基礎自治体(市町村、門真市を含む)の産業振興部局と今後連携したいと考えている内容(自由記述)

基礎自治体(市町村、門真市を含む)の産業振興部局と今後連携したいと考えている内容に関しては、以下のような回答があった

図表 II-13 基礎自治体の産業振興部局と今後連携したいと考えている内容

No.	内容
1	補助金等の情報共有
2	企業間マッチング
3	ビジネスマッチング(受発注)、人材支援
4	事業者支援(各種補助金の活用等)
5	地域の企業が悩んでいる課題の共通認識を持つ。金融機関の垣根を越えて協力していく体制づくり。
6	支援窓口の一本化が望ましい。